

科目名	美術		英文表記	FineArt		平成26年2月1日	
科目コード	1013						
教員名: 田仲康嗣						作成	
技術職員名:							
対象学科/専攻コース	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全学科	1年	必	履修	1単位	講義	前期	
科目目標	課題制作を通して、個性的な発想と想像力、造形力の基礎的な力を身につける。						
総合評価	授業出席、授業に対する取り組み40%、課題提出に20%、課題ごとの作品評価に40%の割合で評価する。実習主体なので定期試験は行なわない。積極的な実習参加を重要視する。						
科目目標達成度とJABEE目標との対応	科目達成度目標(対応するJABEE教育目標)			達成度目標の評価方法		目標割合	
	①	ドローイング: 様々な身近な画材を用いて素早くイメージを描きとめることができる	⇒	授業終了時に作品提出。講評時に評価		50%	
	②	コラージュ: 印刷物やいろいろな素材を画面に切ったり貼ったりして新たなイメージを創り出すことができる	⇒	授業終了時に作品提出。講評時に評価		35%	
	③	素材工作: 提示された課題のイメージを段ボール素材を使い、小立体作品で作ることで基礎的な工作力と表現力を身につける	⇒	授業終了時に作品提出。講評時に評価		15%	
本科・専攻科教育目標	1	2	3	4			
		◎		○			
評価方法と評価項目および関連目標に対する評価割合							
	目標との関連	定期試験	小テスト	レポート	その他(演習課題・発表・実技・成果物等)	総合評価	セルフチェック
評価項目		0	0	0	100	100	
基礎的理解	①②③				40	40	
応用力(実践・専門・融合)	①②③				10	10	
性(プレゼン・コミュニケーション)	①②③				20	20	
主体的・継続的学修意欲	①②③				30	30	
授業概要、方針、履修上の注意	身近な画材を用いての観察を主体としたスケッチや、言葉から発想・連想するイメージ・ドローイングや印刷物をコラージュして新しいイメージの創り出す。工作素材を使っての小立体を作る。身近な造形素材や画材を用いて、自由に造形表現することにより、発想を柔軟にし、個性的な表現方法や発想力、創造力をつける。課題に対し積極的な参加を望む。授業終了時の制作した場所の掃除と道具の片づけは、必須。パソコンは、基本的に使用しない。						
教科書・教材	適宜資料等用いる。						

授 業 計 画							
週	授 業 項 目	時間	授 業 内 容	自学自習 (予習・復習)内容	セルフ チェッ ク		
1		2					
2		2					
3		2					
4		2					
5		2					
6		2					
7		2					
8	期中間試験(行事予定で週変更)	2					
9		2					
10		2					
11		2					
12		2					
13		2					
14		2					
15		2					
期末	期末試験	[2]					
16	授業ガイダンスおよびドローイング課題	2	授業の進め方の説明。課題:身近なものを描く(予定)				
17	スケッチ・ドローイング	2	いろいろなテーマを授業日毎に設定し、様々な画材を用いて 実在するものやイメージを描く。				
18	スケッチ・ドローイング	2	いろいろなテーマを授業日毎に設定し、様々な画材を用いて 実在するものやイメージを描く。				
19	スケッチ・ドローイング	2	いろいろなテーマを授業日毎に設定し、様々な画材を用いて 実在するものやイメージを描く。				
20	スケッチ・ドローイング	2	いろいろなテーマを授業日毎に設定し、様々な画材を用いて 実在するものやイメージを描く。				
21	スケッチ・ドローイング	2	いろいろなテーマを授業日毎に設定し、様々な画材を用いて 実在するものやイメージを描く。				
22	スケッチ・ドローイング	2	いろいろなテーマを授業日毎に設定し、様々な画材を用いて 実在するものやイメージを描く。				
23	コラージュ	2	印刷物を切り抜き新しいイメージを創る				
24	コラージュ	2	印刷物を切り抜き新しいイメージを創る				
25	コラージュ	2	印刷物を切り抜き新しいイメージを創る				
26	コラージュ・ミクストメディア	2	前回まで作った作品をもとに新たにイメージを作る				
27	小立体制作	2	アイデアスケッチ作成				
28	小立体制作	2	小立体制作				
29	小立体制作	2	小立体制作				
30	小立体制作	2	小立体制作				
期末	期末試験		なし				
学習時間合計		60	実時間	45			
自学自習(予習・復習)内容(学修単位における自学自習時間の保証)				準的所用時間(試行)			
①				各2時間×30回			
②				各5時間×2回			
③							
備考欄							